

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 27日

事業所名 いろは

	チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	0%	活動内容や利用者に合わせて環境構成をおこなっている	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	0%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	33%	17%		入り口前に段差が少し見られるが、現在スロープなどの設置が必要な児童が在籍していない為、今後必要に応じて検討をおこなう
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	目標設定、年に数回上長との面談をおこない振り返りをおこなっている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	17%	50%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%	・年間スケジュールを立てている ・虐待防止研修、ABAなど定期的に研修を実施している	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	対象利用者様の個別懇談等をおこない適切に話をお聞きし、計画書の作成をおこなっている	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	17%	0%		アセスメントの具現化と活用の充実が必要
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%		活動の立案はチームでおこなっているが内容は検討する必要がある為、月1~2回活動やイベントについての全体会議を実施し、内容の共有をおこなう
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	様々なプログラムを実施している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	83%	17%	0%	・季節を活かした活動を実施している ・長期休暇時に個々の課題に応じた内容の学び、療育や食事面などの支援充実を図っている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	17%	0%	毎朝、朝礼時に前日のヒヤリハットなどを共有している	・学び(療育)に関しては、行えていないことが多い為、毎日その日の活動内容や役割分担をスタッフ間で共有と確認する
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%	0%	活動や支援での振り返りなどで気づいた点、改善点等スタッフ間で共有をおこなっている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83%	17%	0%		サービス日誌だけでなく、アセスメントについても定期的に更新し、支援の検証・改善に繋げる
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	年2回モニタリングを実施し、必要に応じて見直しをおこないスタッフ間で検討している	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	83%	17%	0%		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	17%	50%	17%		対象となる医ケア児が在籍していない為
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	33%	67%	0%		今後、必要に応じて対応は可能
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	33%	50%	17%		現在、卒業生がいない為
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33%	67%	0%	研修はおこなっていないが、電話や計画書などで情報共有し、連携を図っている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	17%	67%	近隣への公園散歩時に地域の子どもの交流がある	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	17%	67%	17%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	67%	17%	17%		ペアレントトレーニング実施に向けて、さらなるスタッフの専門的な知識が必要となる為、事業所内研修の導入や外部研修の参加をおこない、支援の強化が必要
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17%	50%	33%		コロナ禍による中止の為、実施出来ず
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	・お知らせや活動写真を定期的に配布している ・SNSも活用している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%		スタッフ個々の管理意識を高めて、マニュアル化しさらに強化する必要がある
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17%	0%	83%		利用者ニーズや感染状況に応じて、事業所イベントの規模拡大を検討する必要がある

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	定期的に避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	虐待防止委員会などで対応や事例についてスタッフ間で共有し検討している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	83%	0%	17%		対象となる児童がいない為、今後検討が必要
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	アレルギー対応の食事提供を実施している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%		共有はおこなっているが改善策までの周知と実施の共有が不十分な為、改善するまでの共有が必要がある